

敬老会を開催



↑敬老会の様子

9月6日、広野町中央体育館で平成29年度広野町敬老会を開催し、70歳以上の964人の皆さんへ遠藤町長、浅倉福島民報いわき支社長がご長寿を祝い祝辞を述べました。

式では、結婚50周年を迎えられた金婚ご夫婦13組の皆さんへ広野町と福島民報社より表彰状と記念品を贈呈しました。また、広野町の最高齢者の方には広野町社会福祉協議会会長、広野町老人クラブ連合会会長からそれぞれ記念品が贈呈されたほか、85歳以上の方252人へ社会福祉協議会より記念品が贈呈されました。

式の後には、ものまね歌手の美空りはびりさんや夜桜冬美さんによる歌謡ショーが催されました。

加藤勝信厚生労働大臣が町内を視察



↑友愛会を視察する加藤厚生労働大臣

9月14日、加藤勝信厚生労働大臣が広野町を訪れ、下北迫地区内にある友愛会光洋愛成園を視察しました。

友愛会は障がい者支援施設を運営する社会福祉法人で、東日本大震災以前は富岡町を拠点に活動していましたが、震災後に広野町へ移って活動をしています。

加藤大臣は、同会の施設を訪問し、利用者やスタッフの声を聞いたり、運営の状況などについて質問していました。

遠藤町長や黒田議会議長も同席し、広野町の現状について説明するとともに意見交換を行いました。

クラクションの乱用禁止を呼びかけ



↑街路指導の様子

8月23日、ダンプカーやトラックのクラクション（警笛）の乱用禁止を呼びかける活動を広野町役場前の国道6号線交差点で実施しました。

震災前と比べて多数のダンプカーやトラックが往来し、クラクションによる挨拶行為が多く発生していることから、双葉警察署、富岡地区交通安全協会広野分会、富岡地区防犯指導隊広野分隊、広野町安心・安全ネットワーク会議と広野町が協働でクラクション乱用禁止を訴えるチラシを配布しました。

遠藤町長もチラシ配布に参加し、ドライバーへ安全運転と交通マナーの徹底を呼びかけました。

日本サッカー協会田嶋幸三会長に広野夢大使を委嘱



↑田嶋さん（左）に委嘱状を手渡す遠藤町長

9月13日、日本サッカー協会田嶋幸三会長が広野町役場を訪れ、遠藤町長から「広野夢大使」の委嘱状を手渡されました。

田嶋会長はJFAアカデミー福島の初代スクールマスターとして、東日本大震災以前から広野町に深く関わっていただいております。これまでも広野夢大使として町のPRにご尽力いただいております。

土井亨復興副大臣が来庁



↑意見交換に土井復興副大臣（写真右から2番目）

9月8日、土井亨復興副大臣が広野町役場を訪れ、遠藤町長、黒田議会議長らと広野町の復興状況や町民の帰町状況などについて意見交換を行いました。

土井副大臣は、「福島県・宮城県・岩手県と広域的に復興を進めなければならない中で、福島県が抱える原子力災害の影響をしっかりと捉え、復興を支援していきたい。」と支援の継続を約束してくれました。

半澤黎斗さんがインターハイで快挙



↑半澤さん（右）に目録を手渡す遠藤町長

8月15日、広野町出身の半澤黎斗（れいと）さん（学法石川高校3年）が広野町を訪れ、7月30日に山形県天童市で開催された全国高等学校総合体育大会陸上競技大会の男子1500mで優勝したことを遠藤町長に報告しました。

遠藤町長は祝意を述べ、記念品として陸上用シューズの目録を手渡しました。

半澤さんは広野町の駅伝チームにも所属しており、昨年のふくしま駅伝では2区で区間賞を取る活躍をみせており、今年のふくしま駅伝での活躍も期待されています。

サマーショートボランティアスクールが終了



↑参加した生徒たちと記念撮影

8月7日、広野町社会福祉協議会主催の第13回サマーショートボランティアスクールの閉校式が開催され、参加した広野中学校の生徒50人と、ふたば未来学園高等学校の生徒17人に広野町社会福祉協議会会長である遠藤町長から修了証書が手渡されました。参加した生徒たちは、7月21日から8月7日までの間、町内の老人福祉センター、保育所、幼稚園、児童館、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターでボランティア体験をしました。

九州北部豪雨災害被災地へ義援金を贈呈



↑目録を受け取る原さん（中央）と中島さん（右）

8月25日、九州北部豪雨災害により被災した大分県中津市に対し、被災者支援として緊急募金活動を実施して集まった募金を義援金として送りました。

緊急募金活動は、7月14日から8月18日の間、広野町役場、広野町公民館、ニッ沼総合公園パークゴルフ管理事務所に募金箱を設置し、この募金活動により集まったお金50万円を広野町に中津市から災害派遣職員として勤務している中島敬恒さんと原豊志さんに目録の形で手渡しました。